

植生環境長期変動を考慮した河川シミュレーターの開発

久加朋子¹・赤堀良介²

Tomoko KYUKA, Ryosuke AKAHORI

¹ 北海道大学大学院工学研究院 博士研究員

² 愛知工業大学 工学部土木工学科

要 旨

適切な河道内樹木の管理には、流路変動と樹木の動態との相互関係を解明し、数値計算にて将来予測可能とすることが有用である。本研究は3年計画にて植生環境の長期変動による河床・流路変動および河川環境変化を包括的に考慮可能な河川シミュレーターの構築を目指すものであり、本報告はその初年度として、(1) 現地調査および水路実験から出水時の交互砂州および網状流路への植生種子の定着特性を把握し、樹木侵入モデル構築のためのデータを取得すると共に、(2) 水路実験から出水時の伐採や河岸侵食により河道に流出した流木の挙道を把握し、流木流下モデル構築のためのデータを取得した。

以下の報告には、下記研究テーマを記載する。

- (1) 交互砂州および網状流路への種子定着特性と流路変動特性の検討 (久加朋子)
- (2) 橋脚での流木集積と閉塞発生機構に関する検討 (赤堀良介)